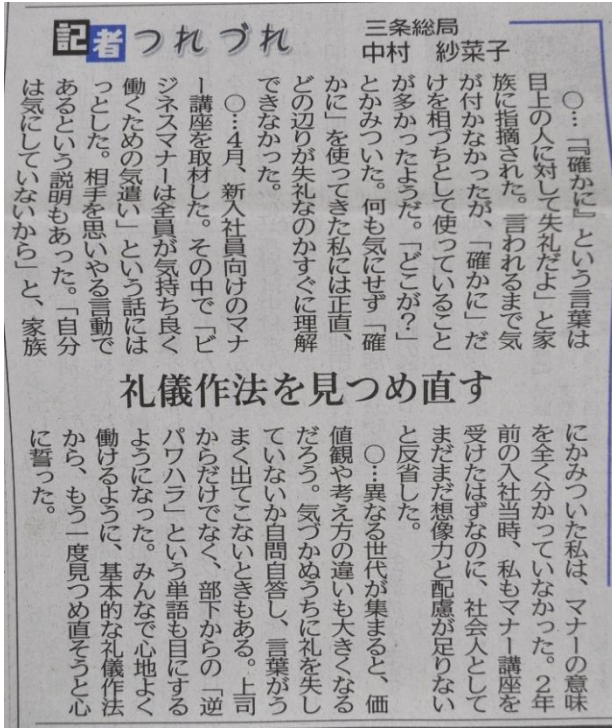


言葉は難しい

校長 武井 正明



今朝の日報に、こんな記事が出ていました。

言葉の使い方は非常に難しいものです。私も、特に若い時は言葉を知らず弁えず、相手を不快に思わせた苦い経験が多くあります。

国語学者の今の考え方は二分されています。

「言葉は常に変わっていくものなのだから、変化大いに結構」の変化肯定派。もう一方は「変わるのを放っておいたら、どんどん言葉は乱れていく。基本線は譲ってはいけない」の変化否定派。

私も国語教師の端くれです。私が支持するのは後者です。

特に若い人を中心に、私が言われて何回も指導した言葉は「なるほど」です。

この「なるほど」は使っている本人は全く失礼だと思っていないことが殆どです。ただこの言葉は上の立場の人が、下の立場の人から助言を仰いだ時に使う言葉です。部下が上司に対して使う言葉ではありません。

そして多いのが目上の人に「了解です」これもついつい使ってしまう言葉です。では、どういう言葉で言い換えたらいいのでしょうか？お家の人に訊いてみてください。

折角の機会です。これがすぐに出てきたら、あなたの文法力は相当なもの。全部クリアできた人は私にぜひ申し出てください。

【問題①】言葉の品詞は10あります。その総てを言ってみてください。品詞表のように系統立てて順番で言えたら100点!!

【問題②】助詞の種類を4つ言ってみてください。

【問題③】その中で「わたしは」の「は」は何助詞でしょうか？ちなみに「わたしが」の「が」は何助詞でしょうか？

よくテレビで見る謝罪会見。「～につきましてはお詫びします」という言い回しがあります。あれは「～についてはお詫びしますが、それ以外はお詫びしません」という意味です。つまり、実は全然お詫びしていないのです。政治家の謝罪で多くみられます。

「～につきましてはお詫びします」が本当のお詫びの言葉になります。

言葉の使い方にも大人も子どももありません。お互いに気をつけていきましょう。